

**製品名: RanGAP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03179**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 64 kDa; Observed MW: 68,82 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RANGAP1
別名	SD; Fug1; RANGAP
遺伝子 ID	5905
SwissProt ID	P46060
免疫原	ヒト RanGAP1 の合成ペプチド

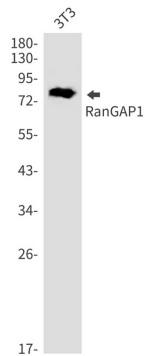
**背景**

核 Ras 関連調節タンパク質 Ran の GTPase 活性化因子であり、Ran を推定上不活性な GDP 結合状態に変換します。

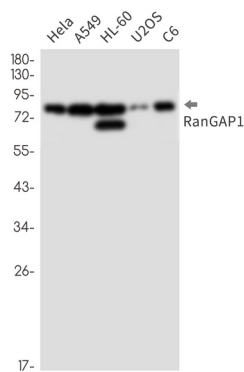
## 研究分野

細胞生物学

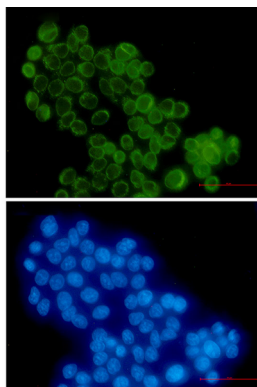
## 画像データ



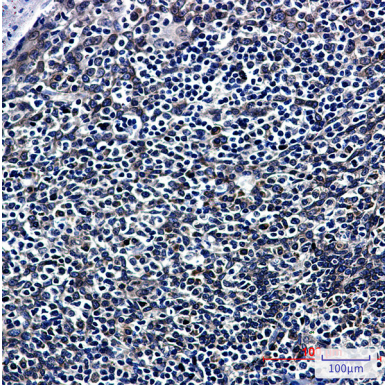
RanGAP1 抗体を使用した 3T3 溶解物中の RanGAP1 のウエスタン ブロット分析。



RanGAP1 抗体を使用した、Hela、A549、HL-60、U2OS、C6 溶解物中の RanGAP1 のウエスタン ブロット分析。



RanGAP1 抗体と DAPI (青) を用いたヘマトクリット細胞中の RanGAP1 (緑) の免疫細胞化学分析



RanGAP1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。